

24年度三田市の予算

～『未来創造型予算』～

新たなまちづくりに向けたスタートの年と位置付け、まちづくりの基盤となる新たな構造改革へとつなげる『未来創造型予算』として編成。特に、「若い世代の入居と定着」「協働のまちづくり」「地域の活性化」、この三つを基本としています。また右の5点をまちづくりの重点施策としています。

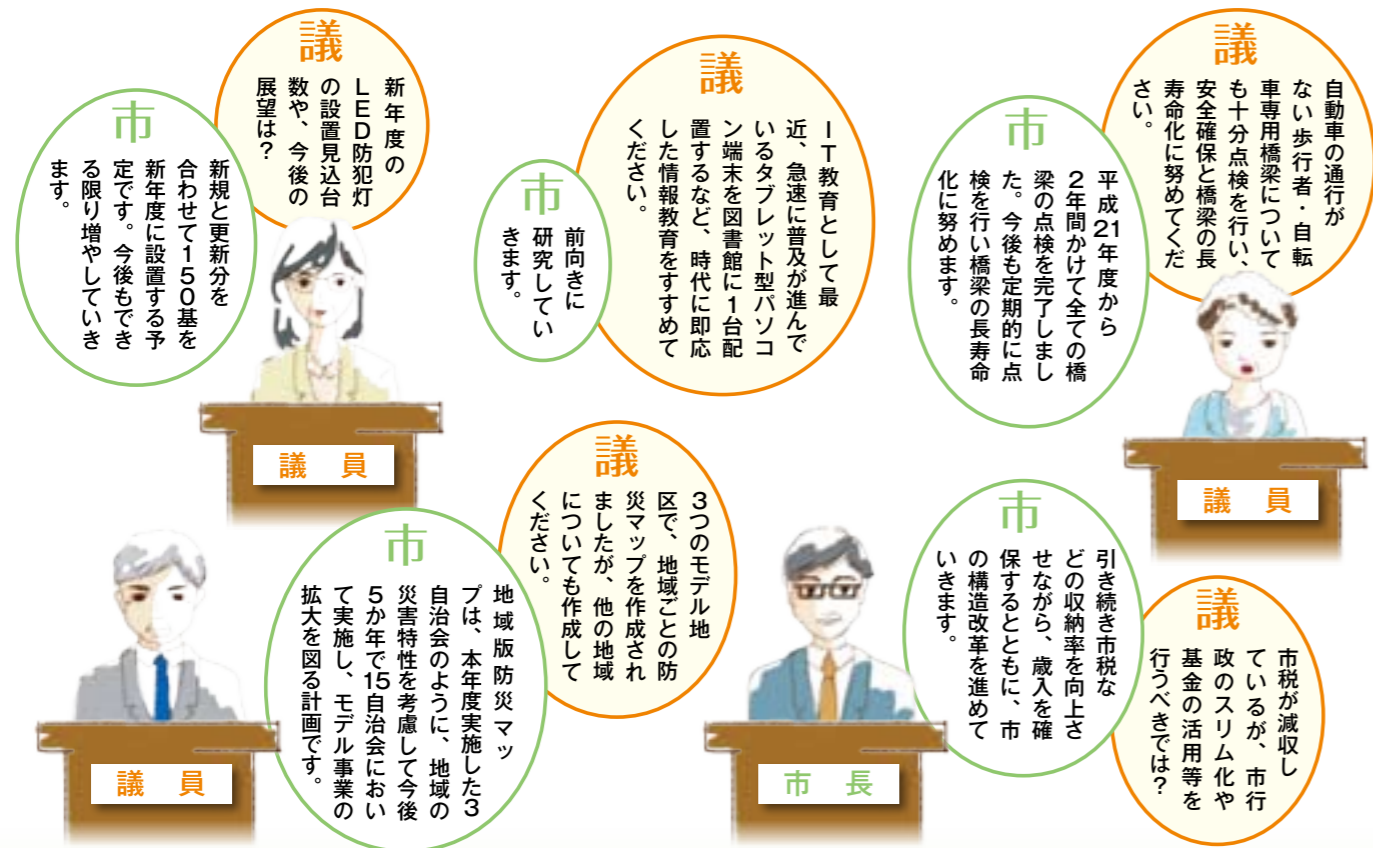
24年度予算総額	737億8853万円
一般会計	405億円
特別会計	190億2640万円
企業会計	142億6213万円

説明 一般会計：福祉や教育、消防など文字通り一般的な用途で市民のために広く使われる会計のこと。
特別会計：一般会計とは別に国民健康保険事業や、下水道事業などといった特定の目的のために使われる会計のこと。
企業会計：水道事業や市民病院のように利用者が負担する経費（水道料金や診察料）によって運営される会計のこと。

24年度予算がめざすのはこんなまちです

1. 子育てがしやすいまち
2. 安心して暮らせるまち
3. 環境にやさしいまち
4. 文化の香り高いまち
5. にぎわいと活力のあるまち

三田市議会は予算特別委員会で新年度予算について次のように審査、要望しました。



一般会計予算案や介護保険事業特別会計予算案については、介護保険事業費などへの反対意見があり、採決の結果、賛成多数で予算特別委員会を通過。その後の本会議においても賛成多数で可決しました。その他の予算案についての結果は10ページに掲載しています。

議員のしつもん

まちづくりや、暮らしに関する制度・事業・方針などについて、議員が主張・提言・指摘を行います。議員が考える政策を実現するためのツールの一つです。



三田市議会 議場

議員のしつもん

- 主張
- 提言
- 指摘

代表質問 **60**分 個人質問 **40**分

一問一答方式と一括方式を採用しています。

会派代表質問は2テーマ、個人質問は1テーマを掲載しています

代表質問

地域担当制導入でどう変わる？

地域

議員 職員による地域担当制の主なねらいは？地域の各種団体の負担軽減にもつながるのか？



森本政直議員 (真正会)

市 市民と一体化して協働のまちづくりの柱となるように！

各市民センター等に市職員を配置し、地域が抱える様々な課題について市民と共に考え、地域コミュニティの活性化と市民力・地域力の向上を図ります。4月から各地域活動に関わる主な事務をコミュニティ課に集約することで、地域の負担軽減にもつながると考えています。(市長)

一般廃棄物の収集業務コスト軽減化へ

財政

議員 家庭系ごみの収集業務の随意契約分を競争入札に、また直営部分を民間委託に移行しコスト削減を図るべきでは？(森本議員)

市 時期をみて段階的に進めます。

23年度に競争入札で委託した業者の業務評価に問題はなく、競争入札の契約期間である3か年の状況を見ながら残りの随意契約分(45%)の競争入札への移行と、直営部分(45%)を一部民間委託へ移行できるよう検討し慎重に進めます。(経済環境部長)

他の質問 中学校における武道の必修化

説明 地域担当制：市職員が市内の各地域ごとの担当になり、地域住民といっしょに課題解決やコミュニティの活性化を図ることで、まちづくりを支援する仕組みです。
随意契約、競争入札：市が任意で選んだ相手と結ぶのが随意契約です。希望者同士が競争して金額を示す行為が競争入札で、最も有利な(安価な)条件を示した業者と契約します。